

「九州大学工学部出前講義」

10月20日（金）に九州大学から安倍賢一先生をお迎えして「大気圏突入時の過酷な熱的環境を予測するシュミレーション技術について」という演題で講義をしていただきました。1・2年生合わせて25名が参加しました。「実験やシュミレーションの結果はうまくいったことしか発表をしないが、それまでに数多くのうまくいかないことがある。」

「工学部は高校で学習している数学や物理、化学の延長線上にあり、大学でも基礎知識は積み上げていかないといけない。」「うまくいかないときにこそ、腐ることなく、やるべきことがきっちりできる人が生き残っていける。」など、専門のお話の中に、私たちにも理解できることを盛り込みながら講義をしていただきました。

「九州といえば地震や噴火が多いイメージがあるが、どんな影響がありますか。」という生徒からの質問には「福岡は、地震も噴火も少なく、10年前に地震があった時、福岡も揺れるんだと感じた。」というお答えでした。また、「九州大学にはどんな行事がありますか。」という質問に対して、「楽しい行事は、大学祭があります。やりたいことを好きな学生たちが集まって楽しんでいる。たとえば鳥人間コンテストや学生のF1レース（学生が自動車を作ってレース場で行う）などです。もちろん学業との両立をして貰わないと留年してしまいますが、自分次第で楽しいことはたくさんできます。」というお答えでした。最後に「九州大学で学ぶ人たちは、社会に出て人類や、社会のために役に立つことをしていく人たちであるし、役に立つことをしなければいけない人たちである。」と言われたことが印象的でした。

「九州大学に興味を持った人はぜひ、来年のオープンキャンパスにきてください。どんな大学か感じられると思います。」と言われました。

九州大学工学部機械航空工学科 航空宇宙工学部門 教授 安倍賢一先生

